

2月18日～
3月15日予定

2月予算議会が始まりました

村越市長になって、はじめての予算議会がはじまりました。提案議案は35件、条例8件、予算11件、契約3件、市道路線3件、諮問4件、報告6件となっています。

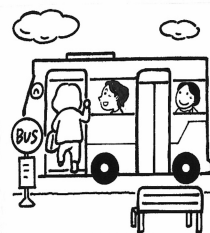
2月18日に、市長の施政方針演説が行われました。市政運営に向けて、「循環型社会で地球環境に貢献」「情報技術の活用による業務革新」「将来を見据えたまちづくり」「国内外への情報発信」を基本方針として、将来都市像の実現に向けて予算編成を行ったということです。

平成31年度の当初予算は昨年度より138億円増額の1578億円となりました。

新規の事業の主なものは、旧行徳街道地域の活性化事業6850万円、防犯ボックス(下貝塚地域、北国分地域)運営事業3000万円、子どもの学習支

援事業1600万円、特定不妊治療費助成事業3273万円、国府台病院内院内学級校舎建替事業1億3140万円など。

拡大事業については、子ども医療費助成・中学3年生までの所得制限の撤廃、コミュニティバス運行事業(北国分地区の実証実験)、市内商店街の店舗リニューアル支援、行徳野鳥観察舎の整備、小塚山公園の整備、国府台球場の再整備、市民プール及び関連地域の再整備、教育関連(教育相談事業、適応指導教室運営事業、学校情報化研究事業、学校給食費負担軽減事業、子どもの居場所づくり事業)などがあげられています。



代表質問は2月26日午後 清水みな子市議が行います

○児童虐待対策の体制強化について

- ・「虐待対策担当室」の設置、学校などとの連携について

○教育行政について

- ・大学生までの給付型奨学金制度の拡充、すべての小中学校に特別支援学級の設置を

○非識別加工情報提供事業について

- ・費用対効果、情報漏えい対策について

○LGBT支援について

- ・当事者との接点を持つ努力、他の自治体の調査、研究

○国民健康保険税の軽減について

- ・減免制度の考え、18歳までの均等割の廃止を

○外環道路開通に伴う住民からの要望について

- ・バス停や環境調査、側道への緑の配置、外環代替地の現況

○下水道の整備について

- ・北西部の整備状況、受益者負担の対応

○家庭ごみの収集について

- ・夏場の追加回収を実施しない理由と市民への影響、生ごみの資源化、高齢者等へのごみ出し支援

○都市計画道路北国分線の整備について

- ・整備状況、ユアー北国分店脇の樹木の処理

日本共産党市川市議団報告 2019年2月発行 第310号

市川市南八幡2-20-2 市川市役所内控え室 047-334-1111